

2025年度 図書館だより 〈第2号〉

令和7年5月21日（水） 群馬県立太田フレックス高等学校図書室 発行

太田地区ビブリオバトル大会・参加生徒募集

期 日 令和7年7月31日（木）午前中
会 場 群馬県立太田東高等学校 太田市台之郷町448
募集内容 ビブリオバトル 発表者1名・観戦者3名
参加申込 6月30日（月）までに図書室まで

- * 他校の発表を聴いたり、交流するよい機会です。多くの参加申し込みをお待ちしています。
- * 希望者が定員を超えた場合、発表者は校内予選を実施、観戦者はジャンケンにて決定します。

2025本屋大賞受賞作品紹介

先月、2025本屋大賞が発表されました。全国書店員が投票して選んだ、読んで一番お勧めしたいと思ったベスト10作品です。すべて図書室に入っていますが、どの作品も人気があります。貸出中の場合は予約をしてください。

1位 『カフネ』
阿部暁子／著 講談社

2位 『アルプス席の母』
早見和真／著 小学館

3位 『小説』
野崎まど／著 講談社

4位 『禁忌の子』
山口未桜／著 東京創元社

5位 『人魚が逃げた』
青山美智子／著 PHP 研究所

6位 『spring』
恩田陸／著 筑摩書房

7位 『恋とか愛とかやさしさなら』
一穂ミチ／著 小学館

8位 『生殖記』
朝井リョウ／著 小学館

9位 『死んだ山田と教室』
金子玲介／著 講談社

10位 『成瀬は信じた道をいく』
宮島未奈／著 新潮社

青少年読書感想文コンクール 課題図書

今年度の課題図書が決まりました。今月中には図書室に入りますので利用できます。

『銀河の図書室』 名取佐和子／著 実業之日本社

宮沢賢治とその作品を研究する高校同好会イーハトー部を1人で起ち上げた風見先輩だが、「ほんとうの幸せは、遠い」という言葉を残して、突如学校に来なくなってしまふ。「図書ノ教室」を活動場所として、残された3人の部員たちがその謎を解明すべく賢治の作品を読み解いていく。その過程で、部員たちもそれぞれ抱えている問題と対峙し苦悩しながら、なんとしても先輩の復帰を願う気持ちが高まっていく。「ほんとうの幸い」とは。



『夜の日記』 ヴィーラ・ヒラナンダニ／著 作品社

1947年、宗教の異なりからインドとパキスタンが分離独立、激しく敵対する。物語は、一家で命懸けの逃避をする12歳の少女の日記を通して展開する。異変を感じたのは、学校の男子に石を投げられた時。なぜ。大人も様子がおかしい。多様な人が平穏に暮らす土地ではなくなったのか。事態はどんどん悪化していった。世界で続く憎悪と不信の衝突。過去のあやまちを思い、違いを受け入れ、寛容で平和な未来を、と著者は願う。



『「コード」のぼくが見る世界』 五十嵐大／著 紀伊國屋書店

「コード」は、耳が聴こえない、あるいは聞こえにくい親のもとで育った、聴こえる子どもたちを意味する。著者はコードであり、幼いころから、親と世間と二つの世界を結ぶ「通訳」のような役割を担い、社会に潜む偏見や差別にも行き当たった。この社会は「健常者」を前提に形作られているように思われる。様々な経験を経て、コミュニケーションで重要なのは、「理解したい」「伝えたい」と願う気持ちであると説く。

